

# 第1 平成30年度上半期の財政状況

## I 補正予算のポイントは何か。～ 予算編成のポイント ～

平成30年度当初予算は、これまでの知事選挙の年と同様、新規事業など政策性の強い施策の一部の経費の計上を見送った、いわゆる「準通年型予算」として編成しました。6月補正予算では、当初予算に本格的な肉付けを行う予算として、未来を見据えた元気な産業づくり、東京オリンピック・パラリンピックや北陸新幹線敦賀開業を見据えた交流基盤の整備・活用と誘客の強化、県民生活の安全・安心のさらなる確保といった点に特に重点を置いて予算編成を行いました。

9月補正予算では、頻発する集中豪雨に備えた治水対策の強化のほか、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックを見据えた海外誘客の促進など、6月補正予算編成以後の情勢の変化や事業の進捗等を踏まえ、新たな対応が必要となった施策について予算編成を行いました。

## II どのような事業が盛り込まれているのですか。～ 補正予算の重点施策 ～

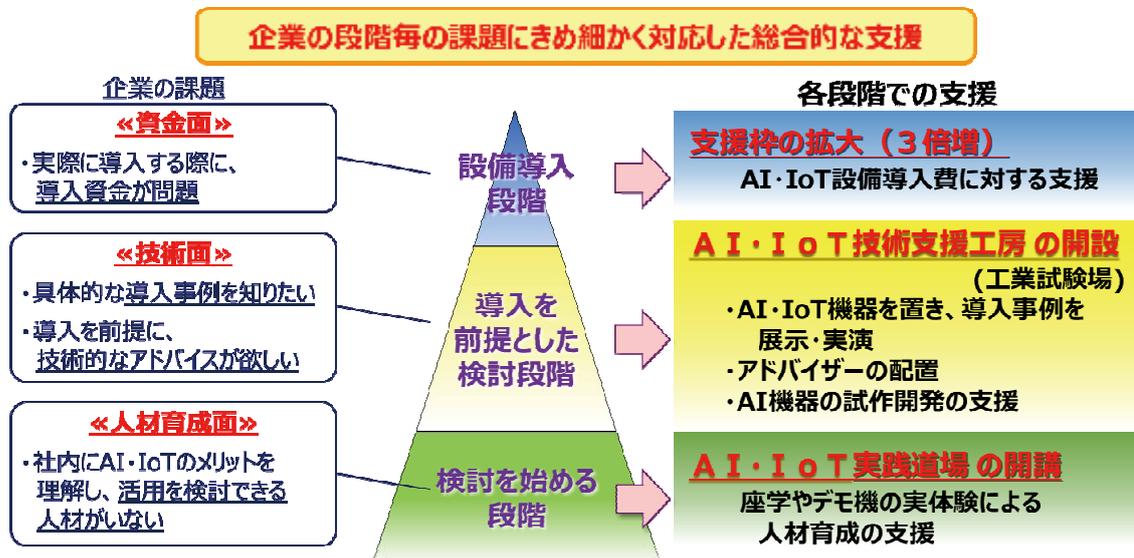
### <6月補正予算>

#### 1 未来を見据えた元気な産業づくり

##### (1) 中小企業の意欲ある前向きな取り組みの積極的な後押し

- ・いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンドの創設（全国最大規模 400億円）  
新技術・新製品開発を総合的に支援する「ものづくり企業特別枠」の創設
- ・生産性向上に向けたAI・IoTの導入への資金面・技術面・人材育成面からの総合支援  
AI・IoT等の導入支援の拡充（助成枠の拡充（10件→30件））  
AI・IoT技術支援工房の設置（訪問相談、導入事例の展示・紹介など）  
AI・IoT実践道場の開講（模擬装置による実体験や演習）

AI・IoT導入に向けた総合的支援



## (2) 人手不足に対応した人材の確保から定着までの一貫支援

- ・移住促進による人材確保と地域の活力創出  
関西圏からのU I ターン就職に向けた取り組みの強化（「I L A C大阪」の新設など）
- ・多様な人材のさらなる掘り起こしの推進  
女性・高齢者等の新規雇用人材の定着支援（研修に要する育成コストへの助成など）

## (3) 新たな成長市場の獲得に向けた戦略的な販路開拓

- ・海外でのネットワークを活用した販路の構築と拡大  
ビジネス商談会の開催（シンガポール、香港）  
海外小売店（いしかわサポーターズショップ）と連携した県産品の展示や観光情報PRなど

## (4) 農林水産業の収益力向上と高付加価値化の推進

- ・ものづくり産業と連携したさらなるコスト低減・高収益化モデルの開発  
コマツと連携した低コスト施設園芸・畑作生産モデルなど
- ・本県が誇る特色ある農林水産物の生産面・技術面・販売面からの支援による生産拡大の加速化  
ルビーロマン、エアリーフローラなどの生産拡大とブランド価値の向上

## 2 東京オリンピックや新幹線敦賀開業を見据えた交流基盤の整備・活用と誘客の強化

### (1) 新幹線の多面的活用と人やもののさらなる交流促進

- ・北陸新幹線県内全線開業を見据えた対策の推進  
全線開業に向けた実行プランの策定、開業効果の県内全域への波及に向けたプロジェクトの推進  
金沢以西の並行在来線の運営に向けた検討
- ・金沢港の拠点港化に向けた機能強化整備と活性化  
金沢港クルーズターミナル・駐車場等の整備（工事着手）  
チャータークルーズの誘致に向けたポートセールス（オーストラリア）など

金沢港クルーズターミナル



- ・次代の基盤となるみちづくりと魅力ある石川の景観の保全・創出  
広域交流ネットワーク道路の整備（のと里山海道4車線化、加賀海浜産業道路など）  
兼六駐車場の建替（第1期工事（2020年夏完成））
- ・航空ネットワークを活用した交流の促進  
小松空港（秋の香港チャーター便の運航支援など）  
のと里山空港（能登立国1300年関連行事等を組み込んだ旅行商品の造成支援など）

## (2) 東京オリンピック・パラリンピックや敦賀延伸を見据えた誘客促進

- ・ 重点的・戦略的な情報発信による誘客促進  
 首都圏からの誘客促進（大手私鉄グループの旅行会社と連携した誘客キャンペーンなど）  
 関西・中京圏からの誘客促進（マイカー誘客促進に向けた情報発信など）
- ・ 戦略的な海外誘客の促進  
 ラグビーワールドカップ観戦客の誘客促進

## (3) いしかわの個性のさらなる磨き上げ

- ・ 石川の新たな「知の殿堂」の創造  
 新たな県立図書館の整備推進（実施設計・用地取得、石川コレクションの収集など）

県立図書館 建物外観



- ・ 東京国立近代美術館工芸館開館に向けた気運醸成と国内外への魅力発信  
 工芸館と本県工芸文化を紹介する映像等の制作など
- ・ 金沢城公園の整備  
 二の丸御殿調査検討委員会の設置
- ・ いしかわの優れた文化の創造と発信  
 「文化立県・石川」の将来を担う子ども達による「いしかわジュニアアートステージ」の開催
- ・ スポーツを通じた活力の創造  
 「スポーツマイレージ」の創設、ジュニア・アスリートの発掘・育成

## 3 県民の安全・安心のさらなる確保

### (1) 防災対策の充実強化

- ・ 災害に強いまちづくり・地域づくり  
 自主防災組織の充実・強化、大学との連携による自主防災活動の活性化

### (2) 結婚や出産の希望がかない安心して子育てできる社会づくり

- ・ 新婚夫婦や結婚予定者の経済的負担の軽減  
 「石川しあわせ婚応援パスポート（婚パス）」の創設
- ・ ワークライフバランス実現のための企業の取り組み促進  
 一般事業主行動計画の策定促進（対象企業の拡大（従業員 50 人以上→20 人超））
- ・ 健康寿命のさらなる延伸に向けた取り組み  
 企業の「健康経営」に対する総合的な支援（健康経営に取り組む企業の認定など）

## < 9月補正予算 >

### 1 県民生活の安全・安心のさらなる確保

- ・ 頻発する集中豪雨に備えた治水対策の強化  
河川改良の促進、河川の堆積土砂の除去など即効性のある災害予防対策  
洪水浸水想定区域図の見直し作業の前倒し（2019年秋完了）など
- ・ 災害に強い県土の基盤づくり  
雪害・低温による道路損傷の緊急改修、緊急輸送道路等の整備促進など

河川の堆積土砂除去



### 2 ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックを見据えた海外誘客の促進

- ・ オセアニア等からの誘客の強化  
ラグビーファンに対する情報発信、観光誘客を担う代理人（オセアニア観光レップ）の設置  
食や伝統文化体験を交えた本県ならではの観光魅力の発信（現地旅行会社向け観光セミナー）

### 3 未来を見据えた元気な産業づくり

- ・ 炭素繊維分野での事業化促進  
CFKバレーの企業等との連携に向けた国際展示会（ドイツ）への出展支援
- ・ 新たな発想による農林水産業の収益力の向上  
ドローン・AIを活用した中山間地等での低コスト水稻生産モデルの構築  
ドローン・AIを活用した森林の境界確定作業の効率化
- ・ 能登牛のさらなるブランド化に向けた生産体制強化（目標出荷数 1,000 頭→1,300 頭）

### 4 県立大学の整備

- ・ コース制導入に向けた実習棟の改修

### Ⅲ 予算額はいくらですか。 ～ 一般会計補正予算と現計予算の状況 ～

歳出性質別予算

△印減(単位:千円、%)

区 分	上半期補正予算額			平成30年度9月 現計予算額 A	平成29年度9月 現計予算額 B	増減率 (A-B) B
	6月補正予算額	9月補正予算額	合 計			
1 職 員 費	-	-	-	134,085,838	134,033,243	0.0
2 投 資 的 経 費	30,827,831	7,010,566	37,838,397	112,930,032	103,014,575	9.6
一 般 公 共 事 業	12,916,802	4,158,525	17,075,327	61,704,415	57,109,186	8.0
国庫補助建設事業	2,004,688	1,302,397	3,307,085	5,945,303	4,538,675	31.0
一 般 単 独 事 業	14,193,654	1,099,422	15,293,076	33,847,063	28,633,445	18.2
災 害 復 旧 事 業	-	450,222	450,222	4,104,071	5,115,849	△ 19.8
国直轄事業費負担金	1,712,687	-	1,712,687	6,682,210	7,097,350	△ 5.8
受 託 事 業	-	-	-	646,970	520,070	24.4
3 土 木 施 設 維 持 補 修 費	-	-	-	1,812,217	1,812,217	0.0
4 一 般 行 政 経 費	8,233,957	150,754	8,384,711	219,855,346	209,809,724	4.8
国庫補助のあるもの	740,829	68,754	809,583	70,930,461	70,258,295	1.0
国庫補助のないもの	7,493,128	82,000	7,575,128	148,924,885	139,551,429	6.7
5 公 債 費	-	-	-	92,890,675	95,469,151	△ 2.7
合 計	39,061,788	7,161,320	46,223,108	561,574,108	544,138,910	3.2

- **上半期補正予算**は、総額 462 億円となり、当初予算と合わせた予算規模は 5,616 億円、平成 29 年度 9 月現計予算に比べ 3.2%増となっています。

#### ひとくちメモ

##### 投資的経費

道路や学校、公営住宅といったハード整備など、社会資本として支出の効果が将来に残るものに充てられる経費です。普通建設事業と災害復旧事業があり、普通建設事業のうち、国の補助を受けて行うものが「一般公共事業」と「国庫補助建設事業」、国の補助を受けずに独自に実施するものが「一般単独事業」です。「国直轄事業費負担金」は、国が直接行う公共事業等への地方の負担金です。

##### 一般行政経費

産業振興や観光誘客、少子・高齢化対策、文化・スポーツ振興などのソフト事業に充てられる経費であり、全ての行政事務に要する経費から、人件費である職員費、投資的経費、維持補修費、公債費を除いたものです。

歳出目的別予算

△印減(単位:千円、%)

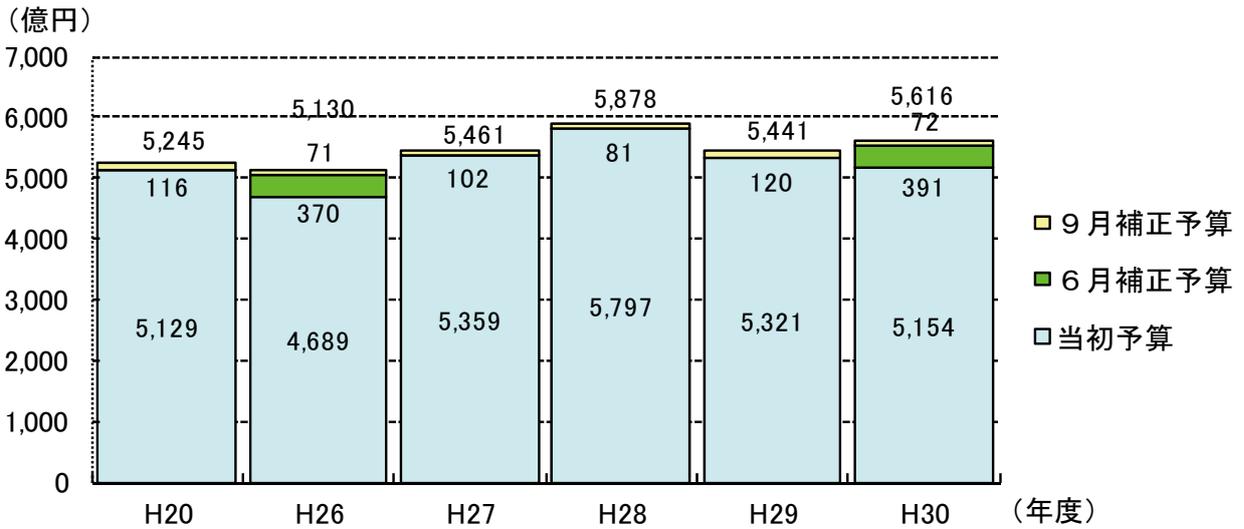
区 分	上半期補正予算額			平成30年度9月	平成29年度9月	増減率 (A-B) B
	6月補正予算額	9月補正予算額	合 計	現計予算額 A	現計予算額 B	
1 議 会 費	-	-	-	1,186,699	1,184,243	0.2
2 総 務 費	1,084,177	153,000	1,237,177	71,761,111	69,922,210	2.6
3 企 画 振 興 費	124,800	-	124,800	27,305,050	20,757,334	31.5
4 県 民 文 化 ス ポ ー ツ 費	1,815,809	-	1,815,809	6,333,999	4,683,834	35.2
5 健 康 福 祉 費	1,201,252	244,672	1,445,924	83,355,978	83,914,381	△ 0.7
6 生 活 環 境 費	303,745	-	303,745	2,290,812	1,831,571	25.1
7 商 工 労 働 費	6,214,200	3,000	6,217,200	40,638,186	35,626,597	14.1
8 観 光 費	362,900	18,800	381,700	2,954,149	2,685,809	10.0
9 農 林 水 産 業 費	5,113,389	1,779,093	6,892,482	32,945,332	31,203,833	5.6
10 土 木 費	21,277,300	4,498,533	25,775,833	68,564,205	64,392,665	6.5
11 警 察 費	442,059	14,000	456,059	25,171,972	24,188,662	4.1
12 教 育 費	1,122,157	-	1,122,157	101,430,923	102,589,505	△ 1.1
13 災 害 復 旧 費	-	450,222	450,222	4,402,228	5,409,254	△ 18.6
14 公 債 費	-	-	-	93,033,464	95,549,012	△ 2.6
15 予 備 費	-	-	-	200,000	200,000	-
合 計	39,061,788	7,161,320	46,223,108	561,574,108	544,138,910	3.2

ひとくちメモ

**公債費**

地方公共団体が過去に借り入れした地方債の元金及び利子の償還に充てられる経費です。地方債の元利償還金は、必ず支払う必要があることから、人件費、社会保障関係経費（介護保険などの高齢者対策、子育て支援、障害者施策、国民健康保険関連経費など）と合わせて、義務的経費とされています。

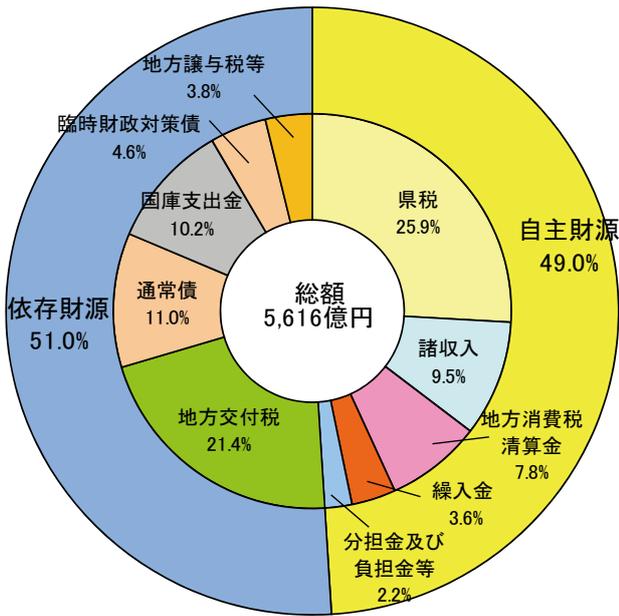
## ＜一般会計 9月現計予算の推移＞



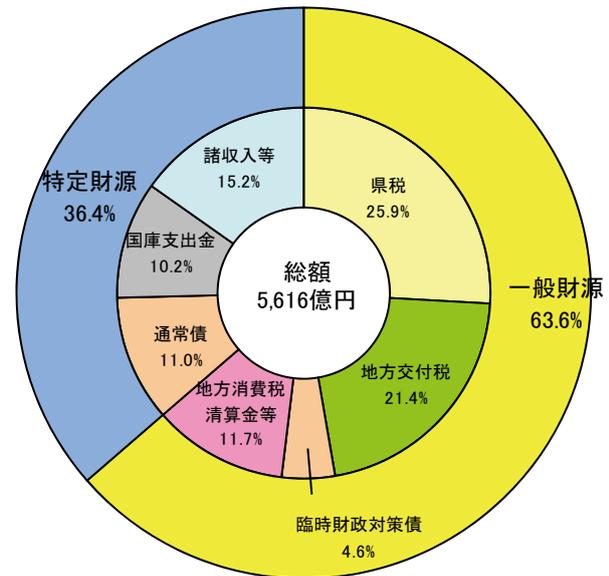
(注) 1 平成29年度9月補正予算には知事専決補正予算が含まれています。

2 端数処理のため内訳が合計に一致しない場合があります。

## ＜歳入 自主財源・依存財源別(現計予算)＞

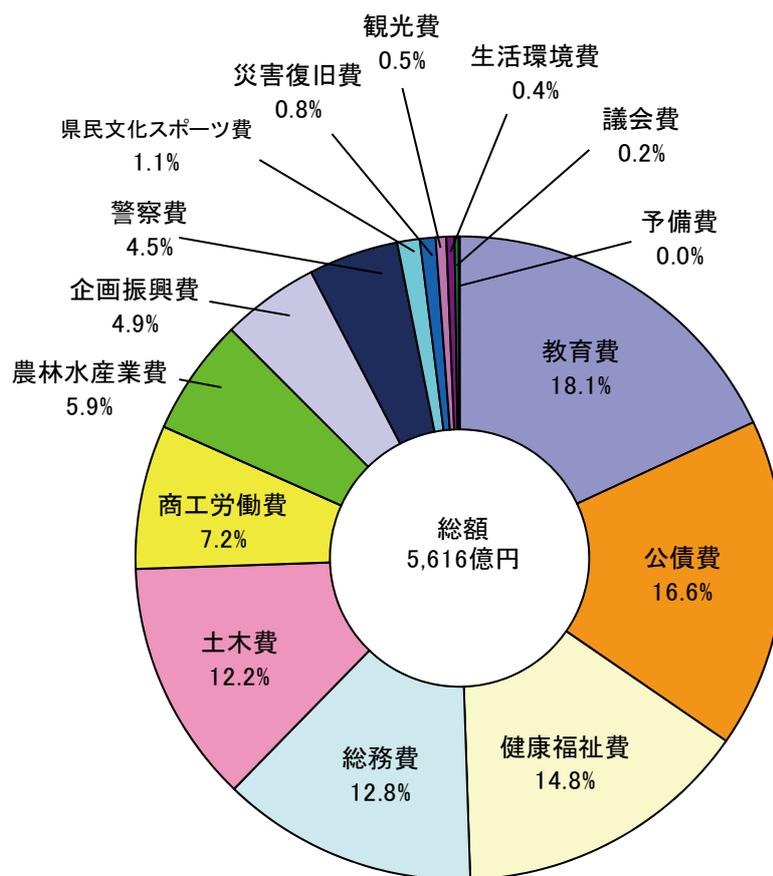


## ＜歳入 一般財源・特定財源別(現計予算)＞

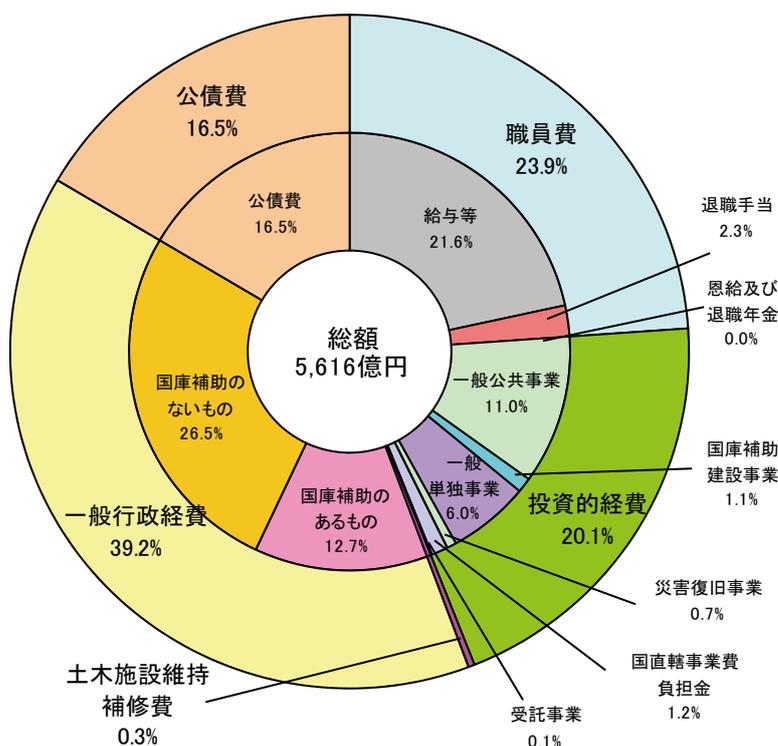


(注) 端数処理のため内訳が合計に一致しない場合があります。

### <歳出 目的別(款別)内訳(現計予算)>



### <歳出 性質別内訳(現計予算)>



(注) 端数処理のため内訳が合計に一致しない場合があります。